

減税の検証  
2010決算

経済水道委員会 さはしあこ議員

減税財源に  
事業仕分け

## 徳山ダム導水路

# 「水は余っている」 見直すべきところはムダな大型事業

経済水道委員会の決算審査で、さはしあこ議員は水道事業の実態についてたどりました。

### 節水努力が実を結び、渇水時にも対応

名古屋市の上水道では、木曾川流域の水利権だけで160万 $m^3$ /日の給水能力があります。2010年度決算では、日平均給水量は約80万 $m^3$ 、最大でも96万 $m^3$ でした。当局は、異常渇水時に備えて水源確保が必

水道事業の概要（各年度決算）

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
給水人口	2,362,597人	2,375,915人	2,381,707人	2,388,316人
1日平均給水量	810,849 $m^3$	800,721 $m^3$	792,684 $m^3$	796,562 $m^3$
1日最大給水量	1,010,970 $m^3$	1,015,870 $m^3$	905,970 $m^3$	959,165 $m^3$

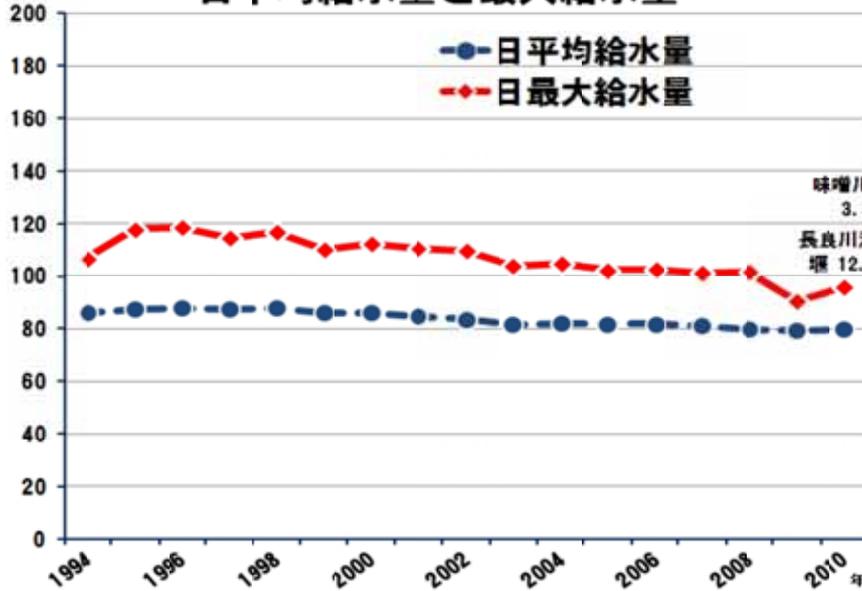
要と理由をつけて、長良川河口堰や徳山ダムの水が必要だと言っています。しかし、当局が提出した10年に一度の渇水時でも、給水力は106万 $m^3$ /日です。

さはし議員は「長良川河口堰からの取水は一度もない」と事実を示し、「長良川河口堰や徳山ダムからの取水は必要ない」と指摘しました。

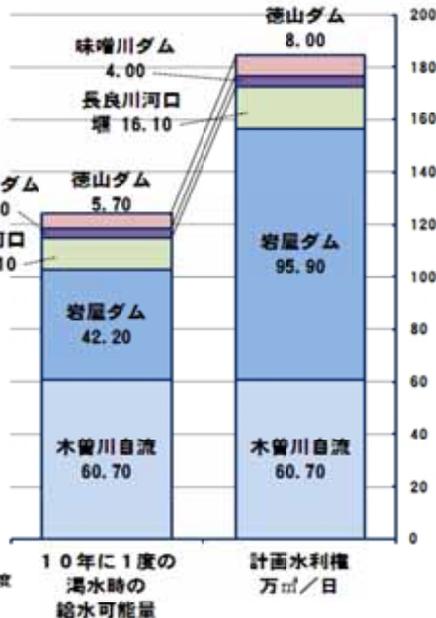
### 豪雨や地震など浸水対策こそ優先を

2009年度から上水で46名、下水で32名の人員削減が行われました。その中で、東日本大震災や豪雨災害時に水道局の職員は被災地支援に全力で取り組んでいます。使わない水の活用を考えるより、技術者の育成や設備投資に力を入れ、災害時にきちんと対応できるよう、仕組みづくりをすることが必要です。

万 $m^3$ /日 **日平均給水量と最大給水量**



名古屋市の水利権(2010年度 万 $m^3$ /日)



2011年度水道会計に見る水源関連予算（債務負担行為額など）

水源	総事業費	名古屋市負担	支払い済み	支払い予定
徳山ダム	3500億円	206億円	1998～2010年 128億円	2011～30年 288億円
長良川 河口堰	1474億円	82億円	1995～2010年 107億円	2011～17年 47億円
徳山ダム 導水路	890億円	120億円	2009～2010年 4421万円	2011～15年 52億円

## 事業仕分けの傍聴を

とき・10月21日(金)22日(土)23日(日)  
午前9時15分開場  
仕分けは 10時～午後4時30分  
ところ・名古屋市公館（市役所の東南）  
傍聴定員は各班40名。先着順です。